

佐伯市文化財調査報告書

明石家  
寄贈

# 明石秋室關係資料目錄



佐伯市教育委員会

## 序

この度、明石家第九代明石堅吉氏より、佐伯藩を代表する碩学・明石秋室の自筆本をはじめ、関連資料を一括して佐伯市教育委員会へ寄贈して頂きました。氏のご好意に対し、ここに深甚なる謝意を表する次第であります。本目録は、ご寄贈頂いた資料全体の構成と概要を把握するため、緊急調査をして作製いたしました。幸いにも、国文学研究資料館のご協力により、井上敏幸先生、ロバート・キャンベル先生、高橋昌彦先生をお迎えすることができ、それぞれの専門分野から書籍、文書類及び印記について精力的に調査を進めて頂きました。厚くお礼申し上げます。なお、編集にあたりまして、秋室の学術形成と書体の変遷の一端を示すため、成立時の確定した資料の図版を年代順に掲げております。

明石秋室は名を肅、字を雨若といい、通称は仙治また遷次郎、後に大助と改めました。秋室は号で、他にも桂山山樵、土甫、青大などの号があります。秋室は杵築藩士豊田八蔵の二男で、寛政五年（一七九三）に生まれました。少年期は書を三浦黄鶴、画を谷文晁の門人・錦木雲潭に学び、そして詩は矢野毅卿から強い影響を受けたようで、「杵築矢野先生詩録」（秋室写本）にも毅卿との深い師弟愛がうかがえます。

文化十二年（一八一五）、秋室二十三才のとき、遠戚の間柄である明石家に入贅しましたが、その時の条件であった佐伯文庫監督の任に当たりたいという本人の希望は、文化十三年十二月九日付で書物奉行に抜擢されて実現しました。以来、天下に名だたる同文庫の膨大な蔵書を閲読することにより漢籍の素養深く、中国の詩文、取分け中唐末の詩人・李賀の作品に強い関心を寄せていたことが、本資料中一出版を志して編集した「昌谷詩集」、「王季重李賀詩解序」、或は李賀の詩風を伝える歴代諸家の詩選「錦囊遺彩」、「韓孟柳詩」、「孟東野詩」、「徐文長詩集」、「晞髮集鈔」、「茅亭漫録」、その他一連の詩文抜書に如実に示されています。そして、「鄙稿」と「玉樓鬼訂」は、秋室自作の詩文を収めた作品集の草稿であります。このうち「秋郊鬼風謡」「狐嫁詞」などは、秋室の代表作とされるもので、その凜として怪奇に満ちた作風は李賀の詩境に通じるところであります。この他、「検見笥記」は、秋室が書物奉行から転出して郡代町奉行の職にあつたとき、古市村・上野村の稲毛検分現地調査をした公務日誌であり、また、後半に収録した文書類は、いずれも明石家の動向を系統的に確認できる貴重な原資料であります。総じて、限られた内容でしか紹介できませんが、この目録が明石秋室先生の顕彰と広く郷土史研究に活用されることを期待しております。

一九九三年三月

佐伯市教育委員会

目次

書籍の部	1
文書の部	6
図版	9
印記	23

凡例

- 一、本目録は、佐伯市在住の明石堅吉氏より平成三年十一月二十二日に御寄贈頂いた明石秋室関連資料の簡略目録である。
- 一、書籍と文書の二部に大別したが、資料番号は通し番号 1133 とした。
- 一、書型は、大本・半紙本・小本・横本を各々、大・半・小・横で、また刊本・写本の別を、刊・写で示した。
- 一、書名あるいは文書名は、原本通りを原則としたが、便宜上目録作製者で名付けたものも多い。
- 一、本目録の作製者は、井上敏幸 高橋昌彦  
ロバート・キャンベルである。

明石家  
寄贈

# 明石秋室関係資料目録

佐伯市教育委員会公所蔵

## 【書籍】

- |   |          |     |          |                     |                    |   |
|---|----------|-----|----------|---------------------|--------------------|---|
| 1 | 玉楼鬼訂     | 半一冊 | 秋室撰      | 秋室詩四十四首             | 天保六年秋室自筆<br>紙捻綴十一丁 | 写 |
| 2 | 鄙稿       | 大一冊 | 同        | 秋室詩二十九首<br>帆足万里批点   | 秋室自筆<br>紙捻綴九丁      | 写 |
| 3 | 矢野蕉園詩文稿  | 半一冊 | 矢野弘(蕉園)撰 |                     | 蕉園自筆<br>紙捻綴三丁      | 写 |
| 4 | 杵築矢野先生詩録 | 大一冊 | 同        | 蕉園詩三十余首<br>万里・山陽批点  | 天保二年秋室識語<br>紙捻綴十三丁 | 写 |
| 5 | 柿園詩稿     | 一葉  | 柿園撰      | 七言古一篇               | 天保元年自筆             | 写 |
| 6 | 菜譜拔書     | 大一冊 | 貝原益軒撰    |                     | 秋室自筆<br>紙捻綴十七丁     | 写 |
| 7 | 王季重李賀詩解序 | 半一冊 |          | 「少年楽」他              | 秋室自筆<br>紙捻綴七丁      | 写 |
| 8 | 山静画論抄    | 半一冊 |          | 山静居画論・筆法<br>記・王維山水論 | 紙捻綴二十四丁半           | 写 |

19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9
虞初新志	漢文拔書	左伝杜解補正	桃花影	詩文拔書	昌谷詩集	青軒漫録	詩文拔書	詩文拔書	詩文拔書	詩文拔書
半一冊	大一冊	大一冊	半一冊	半一冊	大一冊	大一冊	大一冊	大一冊	大一冊	大一冊
		清顧炎武撰	煙水散人編							
他魏禧「大鉄椎伝」	清黄宗義・魏禧等		碗四卷十二回 香斎梓	元・明詩		清魏氷叔「答南豊 李作謀書」他	士「郡齋雨中與諸文 集」他	白唐元稹「夜雨」他・ 夢仙	他唐盧仝「將帰山」	
秋室自筆 十三丁	秋室自筆 四十二丁	秋室自筆 五十丁	秋室自筆 百二十一丁	秋室自筆 紙捻綴二十五丁	文化十三年秋室自筆 紙捻綴百四十丁	文政十一年秋室自筆 紙捻綴十六丁	秋室自筆 紙捻綴九丁	秋室自筆 紙捻綴十八丁	秋室自筆 紙捻綴三十丁	秋室自筆 紙捻綴七丁
写	写	写	写	写	写	写	写	写	写	写

20	蘇詩鈔	大一冊		紙捻綴六十三丁	写
21	新刻火珠林	半一冊	外題「濃翠堂易書七種之一」明胡文煥校	紙捻綴七紙	写
22	詩文拔書	大一冊	空香中人漫抄上・下考証隨筆	秋室自筆 百五十七筆丁	写
23	詩文拔書	大一冊	唐宋文婦、張明弼、明黃汝亨	秋室自筆 紙捻綴十筆丁	写
24	詩文拔書	大一冊	韓孟柳詩、批語圈点	天保十三年秋室自筆 紙捻綴七十筆丁	写
25	詩文拔書	大一冊	□簡齋文抄	秋室自筆 紙捻綴五十五丁	写
26	詩文拔書	大一冊	清黃宗義、周櫟園、陸次雲	秋室自筆 紙捻綴十三丁	写
27	詩文拔書	大一冊	外題「鬚髮集鈔」	秋室自筆 紙捻綴三十五丁	写
28	詩文拔書	半一冊	外題「茅亭漫錄・昌谷集附錄」	秋室自筆 紙捻綴二十四丁	写
29	詩文拔書	大三冊	徐文長詩語圈点 秋室批語圈点	秋室自筆 紙捻綴七・四・九丁	写
30	詩文拔書	大一冊	外題「丙午漫抄」 唐張旭、王昌齡	弘化三年秋室自筆 紙捻綴十筆丁	写

31	詩文拔書	大一冊	外題「孟東野詩」 秋室批語圈点	嘉永二年秋室自筆 紙捻綴二十四丁	写
32	詩文拔書	大一冊	外題「癸丑漫抄」 拙堂文語抄録	嘉永六年秋室自筆 紙捻綴六丁	写
33	詩文拔書	大一冊	外題「湘中草抄」	天保六年秋室自筆 紙捻綴十八丁	写
34	詩文拔書	大一冊	外題「湘中草抄」	秋室自筆 紙捻綴二十一丁	写
35	詩文拔書	大一冊	外題「錦囊遺彩」 明汪巽元何景明他詞曲	文政八年秋室自筆 紙捻綴二十五丁	写
36	詩文拔書	大一冊	外題「錦囊遺彩」 明徐賁林敏他詞曲	秋室自筆 紙捻綴十五丁	写
37	詩文拔書	大一冊	外題「錦囊遺彩補」 元楊維禎詞曲	秋室自筆 紙捻綴十七丁	写
38	詩文拔書	半一冊	外題「遺彩剩錄」 宋范浚明袁宏道他詞曲	秋室自筆 紙捻綴十八丁	写
39	詩文拔書	半一冊	外題「錦囊遺彩」 明趙迪王象春他詩	秋室自筆 紙捻綴二十丁	写
40	詩文拔書	大一冊	外題「錦囊遺彩稿」 外題「文政十年」 ・外題「山房備忘録」 ・外題「近政使李公墓銘」 ・外題「宋金華他	秋室自筆 紙捻綴十八丁	写
41	詩文拔書	大一冊	外題「近政使李公墓銘」 ・外題「宋金華他	秋室自筆 紙捻綴三十七丁	写

42	弓道伝書	大一冊		天明八年奥「弓矢文 字集」—「弓矢詞遣」	三十三丁	写
43	刀劍秘伝集	半一冊		内題「秘伝集」	文久元年秋室自筆 四十五丁	写
44	検見筭記	大一冊		古市邨上野村検見日 記	天保十一年秋室自筆 紙捻綴十六丁	写
45	検見日記草稿	三葉			秋室自筆	写
46	政体	大一冊	太政官	慶應四年戊辰閏四月 太政官序	慶應四年木活字 紙捻綴十五丁	刊
47	在京日記	大一冊		明治元年十月より 二年三月まで	紙捻綴十九丁	写
48	祖先年忌操出帳	半一冊	明石氏撰	享保二十年より昭和十七年 まで 二付大助・琢磨略	紙捻綴十四丁	写
49	新封建論	大一冊	静妙子撰		明治三年長三洲跋 紙捻綴十八丁	写
50	近古史譚	半一冊	大槻清崇撰	下巻	安政三年木邨毅跋 紙捻綴三十二丁	写
51	備忘	小一冊	竹叟	明治四年正月より 十月まで	明治四年	写
52	備忘録	横一冊		表紙「文久二年 四月備忘録」	明治三十一・十八年	写



53 公私録

横一册

文久元年より明治三年まで  
雑録、佐伯藩略誌、詩拔書

明治三年  
薄葉八十九丁

写

54 御誓文御宸翰写

大一册

慶應四年三月  
紙捻綴四丁

写

55 西郷吉之助建白

大一册

西郷吉之助撰

紙捻綴九丁

写

56 斥候

半一册

斥候上・下、私用集古註營  
法四

紙捻綴六十三丁

写

57 都仁志喜

横一册

慶應四年京都闡教館  
薄様百三十一丁

刊

58 武者分

半一册

此一册三卷有之此卷二ハ諸  
役義ヲ微細ニ書ス

紙捻綴三十五丁

写

59 五十騎一備相懸戦法図解

横一册

山脇正準撰

紙捻綴薄葉三十一丁

写

【文書】

60 享保四亥十一月二十五日

周防(毛利高慶)、明石権太夫(初代)宛。扶持役料一件。

一通

61 享保六丑十一月三日

周防、明石伝蔵(二代)宛。養父権太夫隠居及家督相続一件。

一通

62 起請文前書之事 享保十一丙午年十一月

梶西金左衛門典義、明石伝蔵宛。

一通

- 63 御書付 十月十五日  
参益田金兵衛、小林九左衛門、戸倉六郎兵衛、明石伝藏宛。帰  
参一件。 一通
- 64 覚 卯 (宝曆九年) 十一月六日  
明石伝藏宛。帰参 (十人扶持) 一件。 一通
- 65 覚 辰 (安永元年) 七月十八日  
明石辰之助 (四代初名) 宛。明石寿平名跡一件。 一通
- 66 覚 戌 (享和二年) 正月五日  
明石藤左衛門 (四代改名) 宛。寺社宗門奉行兼帯申付一件。 一通
- 67 覚 亥 (享和三年) 八月二十一日  
明石条左衛門 (四代後名) 宛。悴貞治給人見習呼出一件。 一通
- 68 覚 子 (文化元年) 五月二十五日  
明石条左衛門宛。栄之助小納戸膳番寺社宗門奉行申付一件。 一通
- 69 覚 子 (文化元年) 十月十二日  
明石条左衛門宛。知行 (五十石三人扶持) 一件。 一通
- 70 文化元年十月十二日  
美濃 (毛利高誠)、明石条左衛門宛。五十石下給一件。 一通
- 71 覚 子 (文化元年) 十月晦日  
明石条左衛門宛。居所儉約吟味役兼帯申付一件。 一通
- 72 覚 卯 (文化四年) 十月二十九日  
明石登宛。給米二十五俵三人扶持下給一件。 一通
- 73 覚 午 (文化七年) 十一月十一日  
明石条左衛門宛。目付役武具奉行兼帯申付一件。 一通
- 74 覚 未 (文化八年) 正月五日  
明石条左衛門宛。悴伝藏給人見習呼出一件。 一通
- 75 覚 申 (文化九年) 十一月朔日  
明石条左衛門宛。取次格申付一件。 一通
- 76 覚 亥 (文化十二年) 六月三日  
明石条左衛門宛。銀奉行浦奉行申付一件。 一通
- 77 覚 子 (文化十三年) 五月十一日  
明石条左衛門宛。悴仙治給人見習呼出一件。 一通

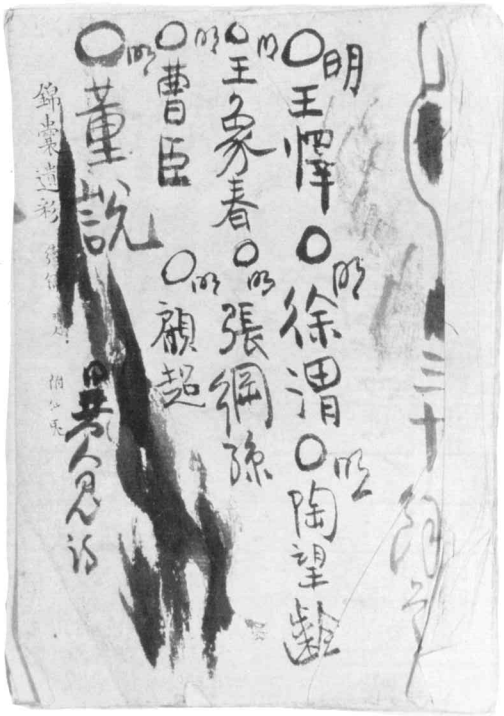
- 78 覚 午（文政五年）十月五日 明石大助（五代）宛。岩之助附申付勤勉奨励一件。 一通
- 79 覚 戌（文政九年）四月十三日 明石大助宛。給米二十五俵三人扶持下給一件。 一通
- 80 天保二年三月七日 出雲（毛利高翰）、明石大助宛。養父条左衛門隠居並家督相統（五十石）一件。 一通
- 81 覚 戌（天保九年）七月二日 明石大助宛。郡代町奉行見習申付一件。 一通
- 82 覚 丑（天保十二年）正月五日 明石大助宛。郡代本役町奉行兼帶申付足高二十石下給一件。 一通
- 83 覚 子（嘉永五年）正月五日 明石大助宛。悴熊五郎給人見習呼出一件。 一通
- 84 嘉永五年四月十二日 安房（毛利高泰）、明石大助宛。十石加増一件。 一通
- 85 覚 子（嘉永五年）四月十二日 明石大助宛。十石加増一件。 一通
- 86 文久二年八月晦日 安房、明石琢磨（六代）宛。家督相統（知行六十石）一件。 一通
- 87 覚 巳（明治二年）十一月十三日 明石琢磨宛。取次格申付一件。 一通
- 88 明治五年壬申三月 大分県 明石琢磨宛。免職一件。 一通
- 89 古高島流加納打方伝授目録 阿南宗兵衛、明石琢磨宛。 一通

河世竹問流室在深至

家作子李昌谷詩解序  
六經子史詩詞駢賦千古文人之所為作也開卷有行  
繪心不意作者之旨讀者之情欣然來會斯為上已若  
讀者又復一人扞格齟齬一紙遂隔萬重有識者惜其  
學之不傳作為註釋日演其義達其旨而箋疏訓詁之  
學興於是有鄭氏之詩之儀禮孔安國之尚書何晏之  
論語王弼之易郭璞之爾雅杜預之春秋其始猶不離  
乎經也後之學者益揚其波而疏其流凡登劉氏之畧  
而著藝文之編者無不註矣其號稱最能者則有郭象  
之莊王逸之騷范望之大玄酈道元之水經裴松之之  
三國書劉孝標之世說新語其間標新領異有發本文

煙雨樓  
昌谷詩集  
庫傳附錄目錄

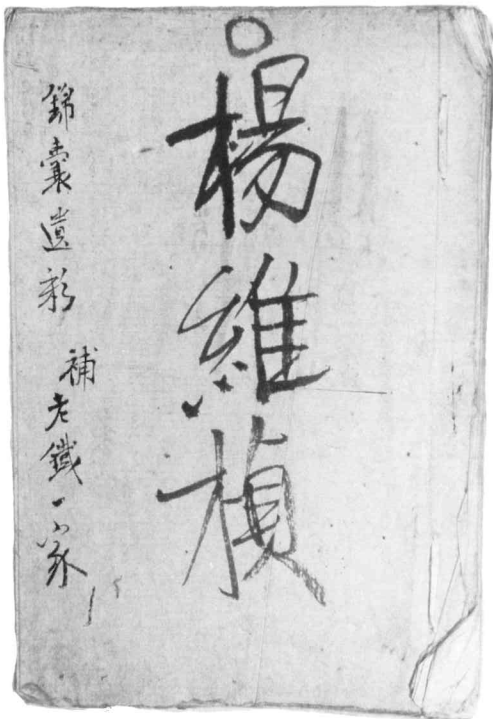
14 昌谷詩集 文化13年(明石秋室24歲)



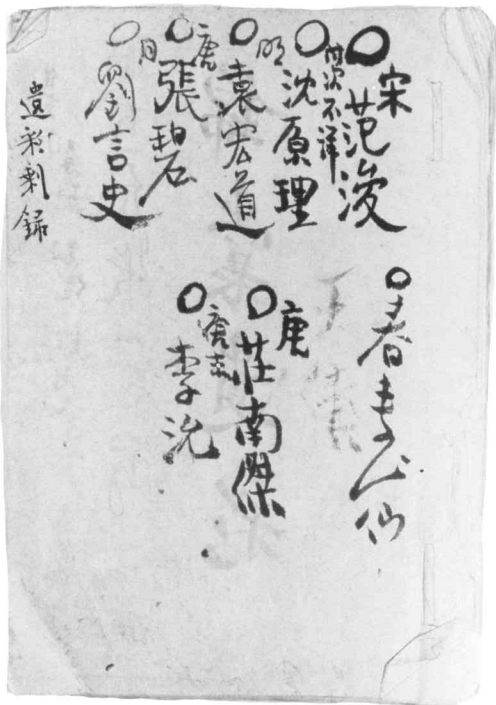
39錦囊遺彩統録 (文政8年同33歳頃カ)



40錦囊遺彩稿 (文政8年同33歳頃カ)  
(附緑玉山房備忘録 文政10年 同35歳)



37錦囊遺彩補 (文政8年同33歳頃カ)



38遺彩剩録 (文政8年同33歳頃カ)

36 錦囊遺彩 (文政8年同33歳頃カ)

錦囊遺彩  
 林敏  
 高啓  
 楊維禎  
 楊其基  
 湯顯祖  
 李卓吾  
 陳全  
 袁枚  
 汪克寬

錦囊遺彩  
 王巽元  
 何景明  
 劉基  
 韓愈  
 柳宗元  
 歐陽修  
 蘇軾  
 黃庭堅  
 楊萬里  
 朱熹  
 陸九淵  
 王陽明  
 袁枚  
 汪克寬

35 錦囊遺彩 文政8年 (同33歳)

青軒漫錄

青軒漫錄

13 青軒漫錄 文政11年(同36歲)

天下之至理者莫如石之而生於制化之理具夫不致以魚  
 鳴石其以醵遊則具生之理郭火禁山  
 具刻之理碑而後甚虛而致玉得蘇而轉則具制  
 之理龜犀清書金鑿者則化之理具夫不致以魚  
 者其莫大於石也而生於制化之理具夫不致以魚  
 性物也出若者也于制化之理具夫不致以魚  
 射于制化之理具夫不致以魚  
 祝于制化之理具夫不致以魚  
 不致以魚  
 雷至正以之祝由而和陰陽佛祖以之呪以之入石  
 可推者推之效觀畫所之缺與事斬草之漸也



前在村某字時不其也蕉園先生、才氣高萬一  
 語不隨以後動、小兒、報、合、作、者、無、及、也  
 後果後伯、茂、先生、~~也~~不復見、吾、亦、合、多、辨、  
 解、不、絕、味、有、種、前、先、生、之、始、青、注、下、一、為、而、  
 而、餘、首、亦、皆、於、之、片、也、  
 文、政、辛、卯、春、夕、春、青、  
 請、於、秋、望、南、廳、下、  
 竹居草堂藏  
 葉完野先生詩錄

4 杵築矢野先生詩錄 天保2年(同39歲)

先生介詩歌、秋、景、長、生、秋、景、日、日、金、  
 中、亦、古、氣、玉、皆、花、飛、列、益、奇、藉、之、衣、  
 佳、詩、少、秋、詩、皆、可、與、古、人、共、行、也、生、品、  
 甚、多、而、今、忘、之、他、日、向、黃、城、話、君、必、有、  
 清、正、焉、  
 華、元、十、月、七、日、貞、為、又、識、  
 昔、見、水、而、無、陸、國、遠、春、人、與、吹、青、千、夜、思、同、甫、之、語、因、  
 感、目、已、異、  
 將、星、夜、露、味、下、星、陣、吹、南、楚、死、  
 故、國、親、朋、空、笑、語、他、鄉、花、月、度、春、秋、  
 忽、爾、驚、安、才、難、與、上、破、天、陸、地、  
 痛、怒、千、星、業、成、厚、約、何、竹、不、  
 如、發、舟、常、片、時、夢、而、以、竹、端、一、月、春、破、鏡、  
 別、來、滿、眼、新、雨、詩、會、何、涼、涼、巾、  
 夫、之、前、前、



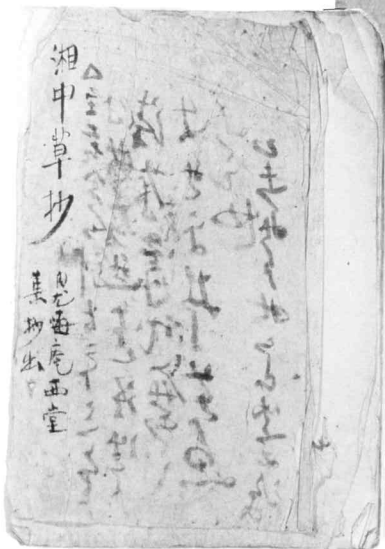
湘中草抄

湯傳楹御謀

泰山吟

音聞岱宗。陰陽大消。百神所却。以錫純嘏。仰通無窮之  
 天。俯迷不測之野。青鸞白鳳。仙人之馬。丹崖翠嶺。仙人之  
 廬。滄洲委蛇。日月瀟灑。白雲新。出沒其下。神房阿閣。  
 竊窺難寫。五松大夫。蒼鏘去瓦。秦皇漢武。拜獻玉箒。  
 探策而祈。壽命莫假。茫。天孫誰長。年者。魏魏。意千  
 聚如市。賈靈太親。呈仰此。探攢鬼氣。一次萬象。瘡啞  
 怪物。采朝光。芒若櫛。太室芝岡。拱稱東夏。是若善嶽  
 帝東音。不知古。采登此。而封禪者。七十有二。至今無

33 湘中草抄 天保6年(同43歲)



天保六年刑部  
 玉樓鬼訂  
 未定業

1 玉樓鬼訂 天保6年(同43歲)

玉樓鬼訂篇  
 秦書大音若  
 平

毛飛同天  
 秦毛飛入空絲玉宮金闕光輝笑他羸政劉歆不及  
 淮南犬豕

蠅母仿徐記室  
 自從宅衛向夏未煩惱加虛日且無陰濕泥程蠅丑多  
 斗室起來太荒、魯不絕、刺、揮、行、坐、令、手、能、說  
 記得山中老曾說大蛇奇說深草際繞丑於相值  
 蛇忽不堪擾黑鱗齊怒起等化鱗下集一跡盡擊死  
 快心有如此蛇乎巧過人安得驅蠅母一、附蛇鱗

老仙謠  
 賀許不至在函然  
 李成用有餘





而止修竹間流管在深  
 一學而峰頂三見上更向  
 肅：秋苑凡上南嶺野每已  
 稿斜朽柱探落日動意水

命邦手裡戲十丈

大堤雷塌八丈幸方并一聖裡戲下寫之

益鬼寺

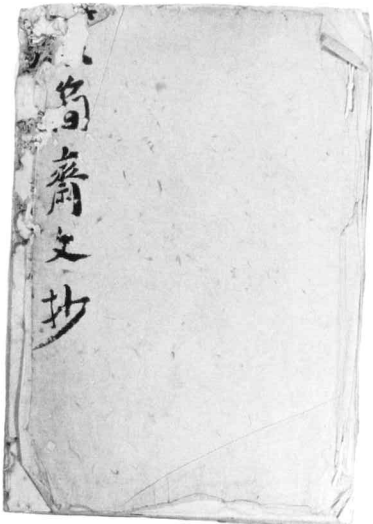
眼如魚目徹者懸心似柳條結日在月明凡舉十三樓獨自

上未獨自下

三次回句從來水國色月思之畫觀常暮月下看

不為獨不朝

25 袁簡齋文抄 弘化元年（同52歲）



丙午漫抄

雷部  
△三平を  
△三平を  
△三平を

30 丙午漫抄 弘化3年 (同54歳)

Handwritten text in cursive style, likely a copy of a document or a collection of notes. The text is dense and difficult to decipher due to the cursive script.

元浩之論詩抱句之樂  
 未免其高天厚地一  
 萬石五出易其華下  
 多石之說  
 百不出口之  
 孟東野詩

31 孟東野詩 嘉永2年 (同57歲)

孟郊 鍾惺曰東野詩有孤峰峻極之私其云  
 寒深則寒也勿作負其一例看  
 譚元春云詩家變化自感唐諸家而妙已  
 後後來人  
 不欲別尋出路自不佳無東野長吉一派  
 ○列女操  
 鍾云此無甚曲且以確為妙樂府亦有確而妙  
 者不專在柔曲也顧情至何如耳  
 是無人不出亦正之類是也  
 梧桐相待老 鴛鴦共會雙  
 君行莫負心 妾死君心  
 朝上登堂行

平定回疆方略

谷禮新卷

鄭里通

食過飯日

房

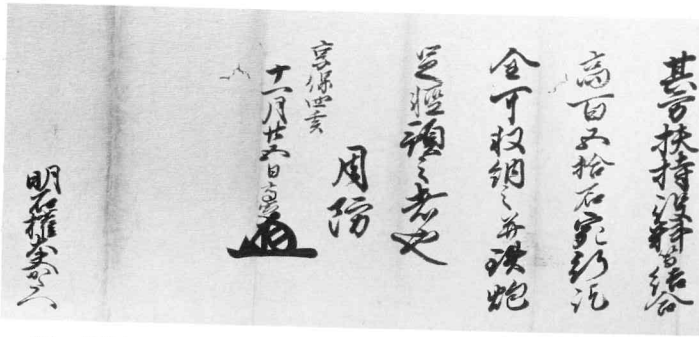
黃錄

後方有... 戊戌年... 甲寅年... 庚辰年...

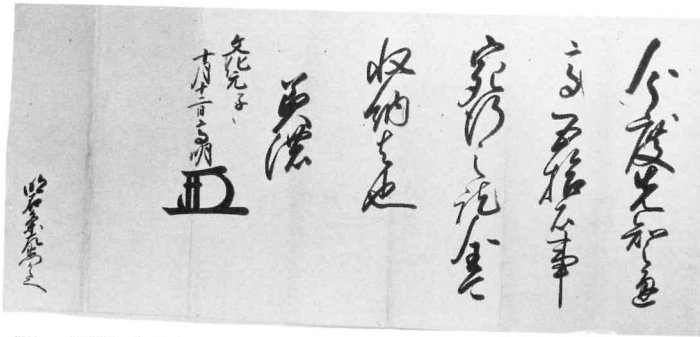
中井履新紀俗傳... 丁戌大... 戊戌... 不... 一... 解... 美... 我... 具... 是...

32 癸丑漫抄 嘉永6年 (同61歲)

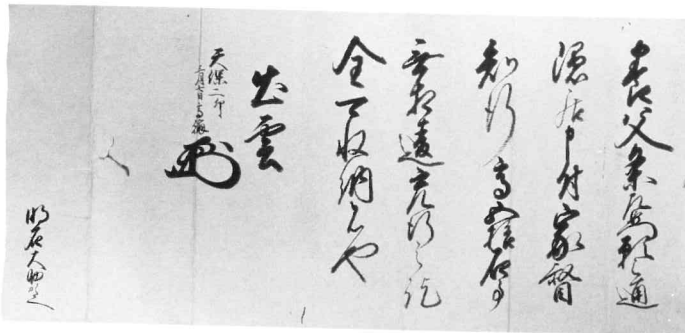




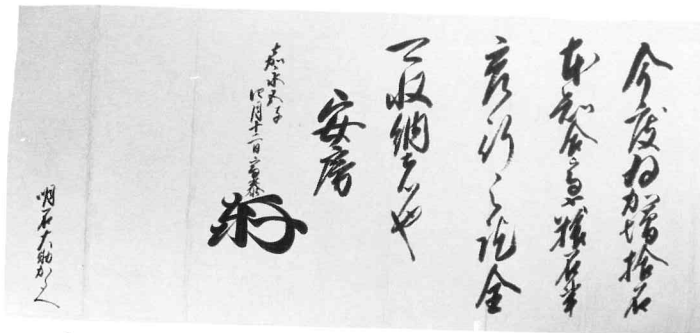
60 周防（毛利高慶）、明石権太夫宛。扶持役料一件。



70 美濃（毛利高誠）、明石左衛門宛。五十石下給一件。



80 出雲（毛利高翰）、明石大助宛。養父系左衛門隠居並家督相統（五十石）一件。



84 安房（毛利高泰）、明石大助宛。十石加増一件。

午王 龍神 大山祇命 龍神 社 臨江庵 放照庵 業師庵 長瀬村 天神 東方庵 久部村 受岩権現 地王子 天神 天神 天神 五社 金毘羅 東禪寺 蛇寄村 三島明神 仙臺庵 堅田村組

大日寺末 羽明石見 羽明石見 領成寺末

53 公私録

印 記 (原寸大)



西 街

不正



竹深處

篠 紫

明石

不正



竹雨房



秦氏淳印



汲古

【付記】

- 一 「<sup>2</sup>鄙稿」所収の作品は、「<sup>1</sup>玉楼鬼訂」に載録されていること。
- 二 「<sup>17</sup>左伝杜解補正」は青年時、「<sup>6</sup>菜譜拔書」「<sup>20</sup>蘇詩鈔」は壮年時の作品とされること。

明石家  
寄贈

明石秋室関係資料目録

平成五年三月三十一日

編集  
行集  
〒876 佐伯市教育委員会  
佐伯市中村南町一番一号

印刷  
佐伯印刷株式会社  
〒876 佐伯市女島九〇三三